

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2015年41週 (10月1週 10/5~10/11)
2015年9月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>
E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp
連絡先: 052-910-5619(企画情報部)

今週の内容

トピックス

RSウイルス感染症、伝染性紅斑、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、インフルエンザ、集団かぜの発生
定点医療機関コメント

感染性胃腸炎、マイコプラズマ感染症、溶血性レンサ球菌感染症、インフルエンザ、RSウイルス感染症等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(23)、腸管出血性大腸菌感染症(5)、デング熱(2)、レジオネラ症(2)、アメーバ赤痢(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(5)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(10)、水痘(入院例に限る。)(1)、梅毒(1)

2015年9月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

RSウイルス感染症(図1)

41週の定点当たり報告数は0.75、40週89人 41週137人(うち0歳51人、1歳44人)で、2歳未満の報告数が全体の69.3%を占めています。

【参考ページ】RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

疾患別ウイルス検出状況

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

伝染性紅斑(図2)

伝染性紅斑はヒトパルボウイルス B19 の感染による「リンゴ病」と呼ばれることもある疾患です。

41週の定点当たり報告数は0.58、40週94人 41週106人(1.13倍)です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(図3)

41週の定点当たり報告数は1.58、40週272人 41週288人(1.06倍)です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html

インフルエンザ

41週の定点当たり報告数は0.33、40週18人 41週64人です。2015年9月に搬入された集団かぜ検体よりA型(AH1pdm09)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

集団かぜの発生

【参考ページ】

名古屋市: 集団かぜによる学級閉鎖等の状況(10月7日発表)

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-11-0-0-0-0.html>

岡崎市: インフルエンザの集団発生について(9月2日発表)

http://www.city.okazaki.aichi.jp/1100/1107/1146/p015463_d/fil/20150902influsuudann.pdf

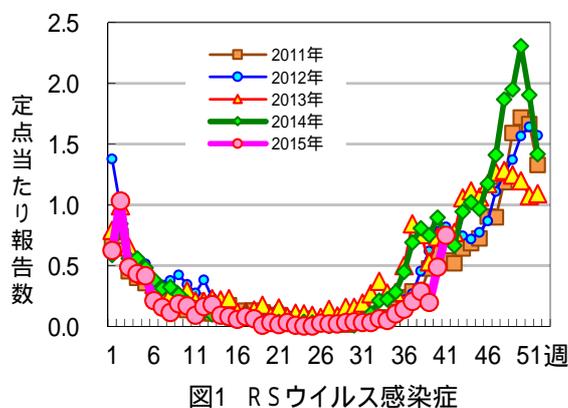


図1 RSウイルス感染症

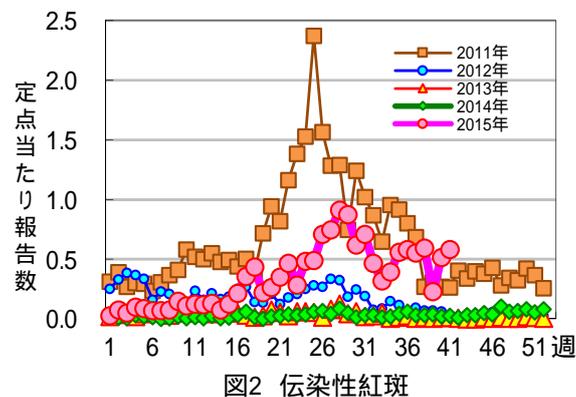


図2 伝染性紅斑

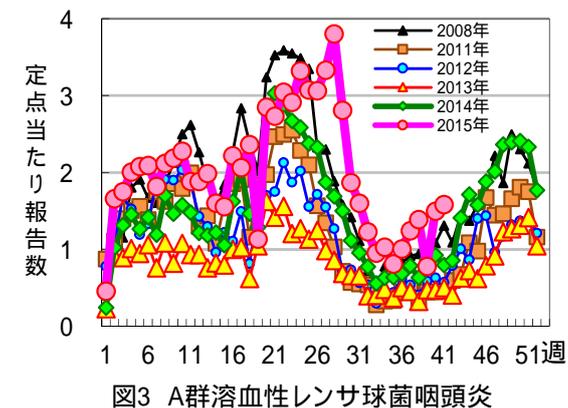


図3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

溶連菌感染症比較的年齢の高い子に目立ちました。

感染性腸炎 10歳、12歳姉妹でサルモネラO9群検出

インフルエンザB型 11歳男

【一宮市 あさのこどもクリニック】

7歳女であるがヘルペス歯肉口内炎様

【一宮市 後藤小児科医院】

手足口病やヘルパンギーナが残っていますが、A群溶連菌12名と目立ちました。(培養検査で陽性でした。)

【犬山市 武内医院】

溶連菌感染症、感染性胃腸炎やや目立ちます。手足口病、伝染性紅斑の流行も続いています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

おちついています。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

2か月男 RSウイルス入院

7歳男 マイコプラズマ検出

【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

手足口病減少

マイコプラズマ感染症目立ちます。

その他溶連菌感染症散発

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

咽頭結膜熱の非定型例を1例認める。

【長久手市 医療法人スズムラ眼科医院】

マイコプラズマ肺炎が増えているように思います。

【春日井市 春日井市民病院】

溶連菌 9例

その他目立つものありません。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

RSウイルス感染およびマイコプラズマ肺炎が増加、伝染性紅斑も目立ちます。

【小牧市 志水こどもクリニック】

5か月女 ロタウイルス(+)

10歳男 カンピロバクター

6歳女 マイコプラズマ

【大府市 まえはらこどもクリニック】

病原大腸菌O6陽性 1名

マイコプラズマ感染症 1名

【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

インフルエンザB型 12歳男

【豊田市 岩瀬小児科】

StrepA(+) 5歳男

サルモネラ(O4) 1歳女

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

6か月男 病原性大腸菌O15(+)VT(-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

マイコプラズマ肺炎

9歳男 12歳男 13歳男 12歳女

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

アデノ 3歳男 4歳女 5歳女 9歳女

サルモネラO4群 11歳女

マイコプラズマ肺炎 8歳女 8歳男

目立った流行ありません。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

インフルエンザ合計3名 全てA型

【岡崎市 栗屋医院】

インフルエンザA型 1名

【西尾市 西尾市民病院】

アデノウイルス感染症 1歳女

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症の子が時々います。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

病原性大腸菌O166 0歳男

【豊川市 ささき小児科】

インフルエンザA型 1名

【豊川市 豊川市民病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2015年10月14日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun150521.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2015年41週報告数			2015年総計(1～41週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	11	3	1	539	127	130
豊田市				49	13	14
豊橋市	4		1	56	9	18
岡崎市	1			31	11	2
一宮				74	26	16
瀬戸	1	1		130	21	68
半田				31	8	3
春日井	3		1	69	12	19
豊川				29	10	3
津島	1			86	15	31
西尾				26	7	5
江南	1	1		49	9	23
新城				11	3	5
知多	1	1		40	10	12
清須				30	13	5
衣浦東部				67	18	20
合計	23	6	3	1,317	312	374

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	4歳	男	10/1	10/2	10/6	O157、VT1(+)
2	名古屋市	1歳	男	9/-	10/2	10/9	O157、VT1(+)
3	名古屋市	5歳	男	-/-	10/5	10/9	O157、VT1(+) 無症状病原体保有者
4	瀬戸	1歳	女	9/23	9/26	10/3	O157、VT2(+)
5	衣浦東部	5歳	女	9/30	10/1	10/6	O103、VT1(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

デング熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	18歳	男	デング熱	カンボディア
2	名古屋市	31歳	男	デング熱	タイ

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	67歳	男	肺炎型	国内
2	豊田市	72歳	男	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	瀬戸	60歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	82歳	男	以前からの保菌	国内	無
2	名古屋市	70歳	男	以前からの保菌	国内	無
3	名古屋市	77歳	男	以前からの保菌	国内	無
4	名古屋市	47歳	男	医療器具関連感染	国内	無
5	豊田市	83歳	女	不明	国内	無

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	瀬戸	60歳	男	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	28歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	23歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	32歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
4	名古屋市	36歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
5	名古屋市	50歳	男	AIDS	性的接触	国内
6	名古屋市	63歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
7	名古屋市	36歳	女	AIDS	静注薬物使用	インドネシア
8	名古屋市	55歳	男	AIDS	性的接触	国内
9	名古屋市	54歳	男	AIDS	性的接触	国内
10	名古屋市	24歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

水痘（入院例に限る。）（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	4歳	男	無	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	豊橋市	80歳	女	無症候	不明	国内

9月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2014～2015年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数	2015年9月			2015年	2014年	
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>	
一類 (7) 発生報告なし	0	0	0	0	0	
二類 (7) 結核	82 (27)	65 (17)	147 (44)	1,288 (366)	1,867 (531)	
三類 (5) コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	
細菌性赤痢	0 (0)	1 (0)	1 (0)	6 (1)	10 (0)	
腸管出血性大腸菌感染症	10 (3)	11 (3)	21 (6)	84 (19)	132 (30)	
腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	
パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	
四類 (43) E型肝炎	0	0	0	7	1	
A型肝炎	0	1	1	10	8	
コクシジオイデス症	0	0	0	1	0	
つつが虫病	0	0	0	0	2	
デング熱	5	1	6	11	11	
マラリア	0	0	0	2	1	
レジオネラ症	14	6	20	82	61	
五類 (22) アメーバ赤痢	2	3	5	48	67	
ウイルス性肝炎	0	1	1	13	13	
内訳	B型	0	0	9	12	
	その他	0	1	4	1	
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症*	7	3	10	59	19	
急性脳炎	0	0	0	23	17	
クリプトスポリジウム症	1	0	1	1	0	
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	6	11	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	1	8	18	
後天性免疫不全症候群	2	0	2	69	98	
内訳	無症候性キャリア	0	0	42	65	
	AIDS	2	0	24	32	
	その他	0	0	3	1	
ジアルジア症	0	0	0	3	2	
侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	12	16	
侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	2	
侵襲性肺炎球菌感染症	6	0	6	118	122	
水痘(入院例に限る。)*	0	0	0	12	10	
梅毒	5	6	11	73	110	
内訳	無症候	1	3	4	26	49
	早期顕症	4	3	7	41	55
	晩期顕症	0	0	0	6	6
播種性クリプトコックス症*	0	0	0	8	2	
破傷風	1	2	3	8	4	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	1	
風しん	0	0	0	13	21	
麻しん	0	0	0	0	45	
総計	136	100	236	1,967	2,675	

* 2014年9月19日から、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」及び「播種性クリプトコックス症」が五類感染症(全数把握対象疾患)に追加されました。また、五類感染症の「水痘(入院例に限る。)」及び「薬剤耐性アシネトバクター感染症」が全数把握対象疾患となりました。なお、五類感染症(定点)の「水痘」は、引続き小児科定点把握対象疾患です。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2015年9月			2015年 累計		2014年 総計		
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体 合計		愛知県全体 合計		
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	31	36	67	645	900	1,591
		女	27	27	54	482	691	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	8	5	13	168	169	643
		女	12	16	28	280	474	
尖圭コンジローマ	男	9	6	15	163	220	347	
	女	5	1	6	81	127		
淋菌感染症	男	13	29	42	356	577	657	
	女	6	2	8	53	80		
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		68	11	79	735	1,090	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		3	0	3	71	59	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		1	0	1	1	4	
	薬剤耐性アシネトバクター感染症		-	-	-	-	0	

2014年9月19日から全数把握に変更

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2015年9月			2015年 累計		2014年 総計	
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体		愛知県 全体	
エキノコックス症の犬	0	0	0	0		1	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2015年5月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症* (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (43疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症** (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2015年1月21日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」及び「鳥インフルエンザ(H7N9)」が二類感染症に追加されました。

** 2014年9月19日に「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」及び「播種性クリプトコックス症」が五類感染症に追加されました。

